



Fun = 楽しい
自分たちが笑顔で働き、日々新しいことにチャレンジしている社員の姿、イキイキ楽しんでいる広研印刷を知って頂きたく、CI委員会ではブログと、このPR誌、『FUN』を通して情報発信しています。

楽しい企画を創造するには、まず自らが楽しくなければ、お客様を楽しませることもできません。『楽しい』は価値であり、価値を生む原動力でもあります。『楽しい』から生まれる創造にご期待ください。
『お客様に安心と満足をお約束し感動をお届けする』

ことを目指します』広研印刷の経営理念です。スポーツ選手でも芸術家でもない私たちがお客様に感動していただけるにはどうしたらいいのか私達は日々考え行動し、新しい感動を創造していきます。
CI委員会

C I
Corporate Identity

FUN

no.4
Corporate Identity
2023

新しい上製本の世界へ。 新里製本所インタビュー



昨年、BABA-BASE で製本体験のワークショップを開いてくださった「新里製本所」様を訪問し、これまでに制作された様々なサンプルをご紹介いただきながら、お話をうかがいました。

新里製本所は、都営三田線・春日駅からほど近くの住宅街にある製本所です。足を踏み入ると、長年使い込まれた風情の製本機が規則的な音を立てている中、カラフルな花切れ（背につける飾り布）の棚が目に入りました。まるでユザワヤ（手芸用品店）のような雰囲気に心惹かれます。別室に案内されると、さらに自由で彩り豊かなサンプルが数々並んでいました。



昭和9年の創業以来、上製本（ハードカバー）を主軸で手がけてきた同社。2017年に社長に就任した新里さんは、「手に取る人に寄り添う、高品質な本づくり」という創業当初からの想いを受け継ぎながら、さまざまなテキスタイル（生地）を用いた表紙などの手法を提案し、上製本の新たな可能性に挑戦し続けています。

新里さんは「人と話すことで、既存のものに対して、新たなアイデアがどんどん浮かんできます。例えば、これまでは重厚感のある色を使うことが多かった上製本に、アパレルで使用される鮮やかな



HONcept ものづくりの人々のために

テキスタイルを取り入れて、『見るだけで、持つだけでうれしい』という新しい価値を創出しました。それが『HONcept』です」と語ります。

「HONcept」は、「テキスタイル × 上製本」というコンセプトで展開されるファクトリーブランドです。手触りのよいサテン、華やかなリバティブリント、かわいらしいネコ柄などの生地を使用したノートは、持つ人の心を豊かにするデザインとなっています。

新里さんは、「製本業界に限らず、ものづくりの人々は表に出る機会が少なく、異なる業界との交流が少ないため、イノベーションが生まれにくい状況にある」と指摘します。上製本においても新しい

アイデアを追求し続けるため、さまざまな業界に目を向けてきました。「関東圏のショッピングモールはすべて頭に入れて足を運び、人々が集まる『場』での出会いを観察しました。その中で、『篤屋家電』がHONceptの初めての展示会にこれ以上はない場所だと思えました。ここは優れたデザインに価値を感じる人たちが集まり、単に買い物をするだけでなく、『みる』『体験する』場所としての役割も果たしています。まずは売れなくてもいい、実際に手にとってもらいたいと考えました。そして展示会を通じて、製本とは異なる業界からの要望や相談も少しずついただくようになりました。最近では上製本だけでなく、本や紙に関する総合相談窓口になっています」と話します。

最近では新里さんの活動が注目され、取材の依頼も増えてきたといいますが、「表に出ることは得意ではありませんが、ものづくりの人々のために頑張っています」と謙虚に語ります。普段接している



木目模様の紙ではなく、実際の木をスライスして貼ることで、風合いのある表紙を実現しました。ナチュラルなイメージのノベルティや記念品としての需要が高いです

広研の営業社員たちは、「社長と話すと元気が湧いてくる。自分にとってのカンフル剤のような存在です」と述べ、新里さんの存在の大きさを語ります。

これからも豊かなバイタリティと広い視野を持ち、業界の枠を超えて活躍されることを楽しみにしています。本当にありがとうございました。（注）



BABA-BASE

フリースペース BABA-BASE では、少人数のワークショップなども開くことができます。お問い合わせはフォームから「BABA-BASE について知りたい」と記入の上送信ください。
●お問い合わせ先 <https://cck7.co.jp/contact> 担当 河野





●『Kohken Green Project』スタート!

皆さんは「オフィス緑化」という言葉を耳にしたことがありますか?

「オフィス緑化」とは、オフィス環境に観葉植物をはじめとするグリーンアイテムを取り入れることを指します。

- ・忙しい業務の中で、ストレス解消等のリラックス効果が期待できる
- ・植物の日々の成長を楽しむことができ、社内の雰囲気明るくする
- ・SDGsに貢献することができる

など、会社にとって大きなメリットが沢山期待できます。

そこで、広研印刷でもオフィス緑化に取り組みたいと思い、頑張って企画書を作り、前川社長にプレゼンをしに行きました。

さすが社長決断が早く、快くOKを頂くことができました!



5月26日、まずは小さな花壇作りから始め、道具や種を近くのホームセンターで購入し、メンバーで種まきを行いました。梅雨に入る直前でお天気が少し心配ですが、元気に育ってくれることを期待します。

5月31日、早くもマリーゴールドの芽が出てきました!CCKが作ってくれたプレートもいい感じで、プロジェクトらしくなってきました。

そして、6月2日には前日のお天気がよかったためか、きゅうりも発芽しました!このまま無事に大きくなってくれますように…

今後のプロジェクトの進行状況は、随時CIブログとTwitterにアップする予定です。ぜひお楽しみに! (勝野)



この日は気温が高かったので、少しの作業でも疲れしました



3日後には発芽し始め、どんどん成長しています!



●第1回 モルック大会開催!!

5/2(火)、CI委員会主催のモルック大会が社内で盛大に開催されました。モルックはフィンランド発祥のスポーツで、木の棒「モルック」を投げて木製のピン「スキットル」を倒すゲームです。

大会はチーム対抗戦形式で行われ、若手社員を代表に3つのチームが熱い戦いを繰り広げました。初心者の方も参加していたため、ルールを再確認し、いよいよ大会スタート!まずは将来有望な若手社員Mくんが記念すべき初投球!この日のために筋トレを頑張ってきた彼の姿勢には感銘を受けました。次に登場したのはクールでスマートな若手社員Oくん!見事な投球を披露しました。そして、麻雀の名手として知られるFくん(別名:若手雀士)が3投目を務めました。若手社員たちを引っ張る彼の姿勢には頼もしさを感じられました。さらに、CI委員長である小川さんや、モルックの女神と呼ばれるほど命中率の高い辻さんも見事なプレーを披露していき、Oさんも狙いを定めてスキットルを次々と倒しました。初心者とは思えない素晴らしいプレーが繰り広げられました。中盤戦では、各チームが徐々に慣れてきたこともあり、熱戦が繰り広げられまし



た。中堅社員のIさんは独自の構えで投球し、彼のオーラには何か特別なものを感じるほどでした。スキットルが散らばる中、どこを狙うべきか各チームで話し合いながらみんなで楽しんでいました。総当たり戦の結果、なんと3チームが1勝1敗で並ぶ展開となり、優勝決定戦では、白熱した戦いが展開されました。見事優勝したのはAチーム!おめでとうございます!

今回の大会は本格的な試合として初めて開催されました。次回はさらに異なるテストでの開催を企画していますので、これからもご期待ください。モルックは初心者の方でも楽しく白熱できる最高のスポーツでした!興味を持たれた方はぜひ、CI委員会までお声がけください。(野々上)



●フットサルで楽しい時間を過ごしました!

広研印刷フットサル部の活動が約3年振りに再開しました。

久しぶりの開催に人数が集まるか不安でしたが、総勢20名も集まってくれました!開始前は和気あいあいとした雰囲気、久しぶりの再開に皆がわくわくしていました。しかし、ゲームが始まると一変し、真剣な表情がメンバーの顔に浮かびました。ボールを追いかける足音と激しいプレースタイルがコートに響き渡った…かと思ったら、一瞬にして会話は「交代!交代!」や「俺、キーパーでいいよ…」「もう無理だ…」といった疲労の声に包まれ、この試合の厳しさが伝わってきました。(笑)みんな久々の運動ということもあり、スタミナや技術の衰えを感じることもありましたが、それがまた楽しい思い出になりました。定期的な運動の重要性を改めて実感し、体力づくりへの意識も高まりました。

若手社員もフットサルに参加してくれて、仕事の枠を超えた交流が生まれました。フットサルはスポーツとしての楽しさだけでなく、チームメンバーとの絆を深める絶好の機会でもあります。



今回の再開は大成功でしたので、今後も定期的にフットサル大会を開催し、社員たちの健康促進とチームビルディングを図りたいと考えています。次回の開催もブログで報告させていただきますので、楽しみにお待ちください!※ちなみに翌週、会社には足を引かず社員が3名ほど現れ、フットサルの熱気と激しさを感じさせ、笑いを誘いました。(大原)

